
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 30 号 (2017. 12. 11)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室

多面的機能支払のメールマガジン第 30 号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、地域の共同作業で災害復旧に取り組む組織や、各団体と連携して活動を効率的に行っている組織を紹介します。

また、山口県で開催された研修会と長崎県で開催された集いを紹介します。

事務局からは、農林水産省広報誌「aff」12月号に掲載された活動組織について紹介します。

==== 第 30 号の目次 =====

1. 活動組織の活動紹介

☆初声仲田元屋舗地区農地水環境保全会（神奈川県三浦市）☆

☆笠木の集落を守る会（鳥取県日南町）☆

2. 多面的機能支払に関するイベントの開催報告！

☆平成 29 年度農村環境の未来を考える研修会 Vol.10（山口県）☆

☆平成 29 年度長崎県多面的機能支払活動組織の集い（長崎県）☆

3. 広報誌「aff」で各地の取組を紹介！～大仙市中仙南部広域活動組織（秋田県）～

（編集後記）

=====

■ 1. 活動組織の活動紹介 ■

☆初声仲田元屋舗（はっせなかだもとやしき）地区農地水環境保全会（神奈川県三浦市）☆

三浦市は、県東南部の三浦半島の南端に位置しており、東の東京湾、浦賀水道から西の相模湾まで、三方を海に囲まれています。気候は年間を通し温かく、当地区では約 100ha の普通畑に、冬は大根、キャベツ、夏はスイカ、メロン、かぼちゃ、冬瓜などを作付けし、首都圏への生鮮野菜供給地として発展してきました。

当組織では、交付金を活用して耕作に欠かせない畑地かんがい施設や農道、農業用水路等の維持管理を実施しています。また、近年は集中豪雨による畑の

耕土流出が多く見られるようになり、今年の9月には、時間雨量87mmという豪雨に見舞われ、多くの畑の耕土が流されてしまいました。以前は、流出した土砂の撤去を農家個々で対応していましたが、地域の共同活動として組織的に対応することにより、迅速に土砂撤去ができるようになり、早期の営農再開や地域の農地保全に役立っています。

また、当組織には、三浦市農協が構成員として参加し、事務を支えています。書類作成等の事務作業を農協職員が行うことにより、農家は農地維持のための共同作業や農作物の生産に専念できるようになりました。

今後も、交付金を有効に活用し、共同作業による農地の維持に努めながら農作物の生産を行い、新鮮な野菜をみなさんの食卓に提供していきたいと思えます。

【事務局 三浦市農業協同組合土地改良対策室 室長 進藤弘一】

☆笠木（かさぎ）の集落を守る会（鳥取県日南町（にちなんちょう））☆

本地域は、県南西部の日南町のほぼ中央に位置しています。標高500mの冷涼な気候で、ホタルやモリアオガエルなどの貴重な生物が生息し、季節によっては集落を雲海が覆う幻想的な景色が見られるなど、自然豊かな山間農業地域です。また、昔から良質米産地として名を馳せ、町内2社の酒造元を輩出した地域でもあります。

本組織は、地域内の農事組合を統合して設立された笠木営農組合から派生して平成19年度に設立されました。農地や農業用施設の維持活動に加えて、「建設会社に勤務する農業者の技術を活用した直営施工による施設の補修・更新」、「本地域出身の若者との交流会」、「ホタルの生息環境を守るための浅水代掻きなどによる水質保全活動」に力を入れて活動しています。「笠木の農地は笠木で守ろう」を合言葉に、集落の活性化、農村社会の維持、農地・農業用施設と環境の維持保全に取り組んでいます。

また、本組織や中山間協定等の各団体は、笠木営農組合を母体として設立されており、地域活動の計画・調整を笠木営農組合が担っています。そのため、各団体が連携・補完しつつ活動することができ、高齢化で人手不足を抱えた本地域でも、農地や施設の維持管理活動を効率的に行うことが可能となっています。

◎主な取組はこちらから！（中国四国農政局 HP）

「平成28年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局表彰式について」をクリックしてください。

<http://www.maff.go.jp/chushi/chusankan/nihongata.html>

【笠木の集落を守る会 代表 近藤仁志】

■ 2. 多面的機能支払に関するイベントの開催報告！ ■

☆平成 29 年度農村環境の未来を考える研修会 Vol.10（山口県）☆

11 月 8 日（水）、山口県総合保健会館において、「村は住む人のほんのわずかな気持ちから、美しくもまずくもなる！」をテーマに、「平成 29 年度農村環境の未来を考える研修会 Vol.10」を開催しました。

山口県においては、農業農村の有する多面的機能を次世代に継承するとともに、活動組織の保全活動に係る知識と技術のステップアップを目的に、毎年 11 月に研修会を開催しており、本年度は 800 名を超える参加がありました。

オープニングでは、「和太鼓集団山城組 空」の皆さんによる躍動感あふれる和太鼓の演舞が披露されました。その後、「この 10 年で農村はどう変わったか」をテーマにした、山梨県の柵木副知事（前農林水産省多面的機能支払推進室長）による講演と、「不利な条件を乗り越えた国や地域、人々に学ぶー地域再生の処方箋」をテーマにした、松下政経塾の河内山塾長（前山口県柳井市長）による講演が行われました。講演内容は以下の URL よりご覧ください。

この研修会を契機に、県内各地で活動が発展し、魅力と活力のある農業・農村が創生されることを期待しています。

◎研修会の詳細はこちらから！（山口県日本型直接支払推進協議会 HP）

「平成 29 年度 農村環境の未来を考える研修会 Vol.10」をクリックしてください。

<http://www.tamenteki-yamaguchi.jp/kennshukai/kennshuukai.html>

【山口県日本型直接支払推進協議会 事務局長 油利 裕】

☆平成 29 年度長崎県多面的機能支払活動組織の集い（長崎県）☆

「平成 29 年度 長崎県多面的機能支払活動組織の集い」を、10 月 31 日（火）に長崎県諫早市内で開催しました。この集いは農地保全推進協議会が毎年開催しているものであり、今回は、県内の活動組織に加え、長崎県農林部長、長崎県議会農水経済委員、九州農政局等、約 800 名が参加しました。

集いでは、主催者や来賓からの挨拶の後、九州農政局から「多面的機能支払交付金の概要」と題した基調講演がありました。その後、県内の 3 つの活動組織の事例発表を行いました。事例発表では、農道路肩等の施設に町の花である水仙を植栽するなど、各地域の特色ある活動事例が発表されました。

次に、大会決議として、「国においては、平成 30 年度当初予算において、地域の要望に足る予算を確保すること」、「国においては、地域の実情をより反映した制度構築に努めること」が満場一致で採択されました。

最後に、大会決議実現に向けての「がんばろう三唱」を行い、幕を閉じました。

この内容は、以下の Facebook に掲載しておりますので、是非ご覧ください。

◎長崎県農地保全推進協議会 Facebook

<https://www.facebook.com/noutimizu>

【長崎県農地保全推進協議会】

■ 3. 広報誌「aff」で各地の取組を紹介！～大仙市中仙南部広域活動組織（秋田県）～ ■

農林水産省が発刊する広報誌「aff」の「MAFF TOPICS」のコーナーで、本交付金に関わる各地の取組を紹介しています。

aff12月号では、近い将来絶滅の危険性が極めて高い淡水魚「イバラトミヨ」が生息している秋田県大仙市で活動する「大仙市中仙南部広域活動組織」を紹介しています。

イバラトミヨの営巣・生育環境となる保全池の環境改善活動を継続し、個体数の増加につながっています。取組の詳細は aff をご覧ください！

◎ aff12月号（農林水産省 HP）

http://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1712/mf_topics02.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 編集後記 ■

早いもので今年も残すところあと 20 日となりました！明日 12 日には毎年恒例の「今年の漢字」が発表されますね。私にとっての今年の漢字は「自」です！一人暮らしを始め自由を手に入れましたが、その代わり自分でしなければならないことが増え、一人で生活することの大変さをひしひしと感じた 1 年でした。みなさんにとっては、どのような 1 年でしたか？

年末に向けて慌ただしい日が続くことと思いますが、安全には気をつけてお過ごしください！

◇平成 29 年度多面的機能支払交付金のあらましは、こちらからご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は、以下のサイトから手続きをお願いいたします。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

なお、手続きには、パスワードが必要です。お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇バックナンバー◇

過去に配信したメールマガジンの閲覧はこちらから

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております。

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：横田）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
